

平成20年1月29日
経済産業省
原子力安全・保安院

長崎県における爆発・火災事故について

1月26日（土）、長崎県の産直センターにおいて、ガスコンロを点火しようとしたところ、爆発し、厨房の天井等を破損し、2名が火傷（軽傷）を負う事故が発生した旨報告がありました。

1. 事故の概要

1月26日（土）、高圧ガス保安法に基づき、液化石油ガス販売事業者（池田住設）から長崎県及び九州産業保安監督部へ連絡があり、同日、長崎県の産直センターにおいて、ガスコンロを点火しようとしたところ、爆発し、厨房の天井等を破損し、2名が火傷（軽傷）を負う事故が発生した旨報告がありました。

原因は、コンロ器具栓の閉止が不十分だったことにより漏えい滞留していたガスが、点火時に引火、爆発したものと推定されますが、現在、詳細調査中です。

なお、同様の情報を原子力安全・保安院のホームページに掲載しますのでお知らせします。

【掲載場所】

http://www.nisa.meti.go.jp/9_citygas/gas_accident.htm

【掲載内容】

事業形態： 液化石油ガス販売事業

ガス種： LPガス

事故発生日時： 平成20年1月26日（土）7：50頃

事故発生場所： 長崎県

被害状況： 人的被害 2名軽傷（火傷）

物的被害 台所天井等破損

事故概要： ガスコンロを点火しようとしたところ、爆発し、厨房の天井等を破損し、2名が火傷（軽傷）を負った。原因は、コンロ器具栓の閉止が不十分だったことにより漏えい滞留していたガスが、点火時に引火、爆発したものと推定されるが、現在、詳細調査中。

機器分類： 業務用こんろ（鋳物2連ガスコンロ）

(参考情報)

業務用こんろ（鋳物2連ガスコンロ）

製造者：マルデ

型 式：MD-210

製造年：不明

2. 注意喚起について

ガス機器を使用する際、ガス臭いと感じたら以下の対策を行い、すぐにLPガス販売事業者に連絡してください。

- 火気は絶対使用しない。
- 着火源となる換気扇、電灯等のスイッチに絶対手を触れない。
- 窓や戸を大きく開ける。
- ガス栓やメーターガス栓を閉める。

(本発表資料のお問い合わせ先)

原子力安全・保安院 液化石油ガス保安課

担当者：田村、清水

電 話：03-3501-1511（内線 4951～3）

03-3501-1672（直通）